

お米の通販コメッツ(KOMETTS)のご案内

当社が運営するオンラインショップ「コメッツ(KOMETTS)」と、話題の商品についてご案内します。

純国産こめ油「こめしぼり」のギフトが登場

大切な人への贈り物に。こだわりのこめ油

木徳神糧の「こめしぼり」は国産原料と国内製造にこだわった純国産の特別なこめ油です。

こめ油には健康維持を助けるビタミンEをはじめ栄養素が豊富に含まれており、他の油に比べて酸化しにくい特徴があります。揚げ物はカラッと揚がり、軽くてクセがなくさまざまな料理に使用するため、リピート購入が多い商品です。

カラダに美味しい「こめしぼり」ギフトボックスを、大切な人への贈り物にいかがでしょうか。



【ギフト】純国産こめ油・こめしぼり600g×5本

アウトレットコーナーを開設しました

何があるかはお楽しみ！売り切れ御免のセールコーナー

精米時期の関係によりアウトレットとして通常価格よりお値引きした価格で販売している商品です。品質に問題はありませんので、「いつものお米がお得に買える」、「安く買えるので新しいお米を試してみた」とご好評をいただいております。

フードロス削減で環境にもお財布にも優しいサステナブルなアウトレットコーナーは、コメッツトップ画面にある↓こちらの黄色いバナーからどうぞ。



オンラインショップ KOMETSははこちら

<https://komets.jp/>



日本の
特産品
(表紙から)

新潟県はお米の作付面積と収穫量のどちらも全国1位という、まさに日本一の米どころ。米作りの長い歴史と伝統と共に歩んできた新潟県が誇る、名所と名産品をご紹介します！

1 越後平野

新潟県中部から北部にかけて広がる平野で、別名新潟平野、蒲原平野とも呼ばれています。秋には黄金色の稲穂で一面が埋め尽くされる、日本屈指の穀倉地帯です。

3 笹団子

笹の葉に包んでスゲなどの紐で結んだ、小豆餡入りのヨモギ団子。「上杉謙信が携帯食として考案した」という説があり、昔はきんぴらなど総菜を入れた団子や、何も入れない団子でも作られていました。

5 のっぺ

新潟の代表的な郷土料理で、里芋のほか野菜、きのこなどを入れたとろみのある煮物です。具材や味付け、つくり方は地域や各家庭ごとにさまざま。新潟の「おふくろの味」として親しまれています。

2 新潟県産コシヒカリ

日本で最も生産量が多いお米として知られるコシヒカリ。とくに新潟県産コシヒカリは甘み、粘り、香り、炊きあがりの艶のどれも抜群。全国で長年支持されている、不動の人気のトップブランド米です。

4 タレかつ丼

一般的な卵とじのかつ丼とは異なり、揚げたてのカツを甘辛い醤油ダレにくぐらせてご飯の上に乗せた、新潟市のご当地グルメ。1つの丼に薄めのカツを2枚以上のせるのが特徴です。

木徳神糧株式会社

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-8 木徳神糧小川町ビル

TEL : 03-3233-5121(代表) FAX : 03-3233-5131



環境負荷の少ない
ライスインキを
使用しています。

木徳神糧株式会社

第76期 2023年1月1日▶2023年6月30日

中間株主通信



のっぺ



タレかつ丼



笹団子



新潟県産コシヒカリ



越後平野

日本の
特産品
新潟県編

詳細は
裏表紙へ！

木徳神糧ってどんな会社？

経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者にコメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

中期3カ年経営計画 (2023年12月期～2025年12月期)

事業規模・事業領域の拡大に向けた体制再構築の期間とし、収益体制を作りながら成長を図る

コメビジネスの拡大

- 米粉ビジネスの見直しと営業力増強
- 生産と物流の効率化
- 同業他社および異業種との連携による事業領域の拡大
- 海外法人を活用し各国の国内市場および近隣国への販売を強化、欧州・アジア向けの輸出を拡大

コメ関連ビジネスの成長

- 飼料事業の更なる成長／北海道と九州での販売拡大
- SDGs関連の取り組み強化および事業化等の積極的な推進

企業の成長の土台作り

- 人的資本経営・従業員エンゲージメントとモチベーション向上を目指す
- 業務の見直しと徹底した効率化を図り、収益基盤を築く

当上半期の取り組み

経営陣と若手社員の交流会

コロナ禍に入社した社員は、対面での集団研修等を実施することが難しい状況であったため、コミュニケーション不足が懸念されていました。

今回対象となった若手社員たちは、久しぶりに顔を合わせる各地から集まった同期と共に研修を受講し、経営陣と同じテーブルを囲み意見交換を行いました。

参加者からは「会社の経営方針を身近に感じる貴重な機会だった」「さまざまな話を聞き、新たな発見や知見が得られ良い刺激になった」との感想が寄せられました。

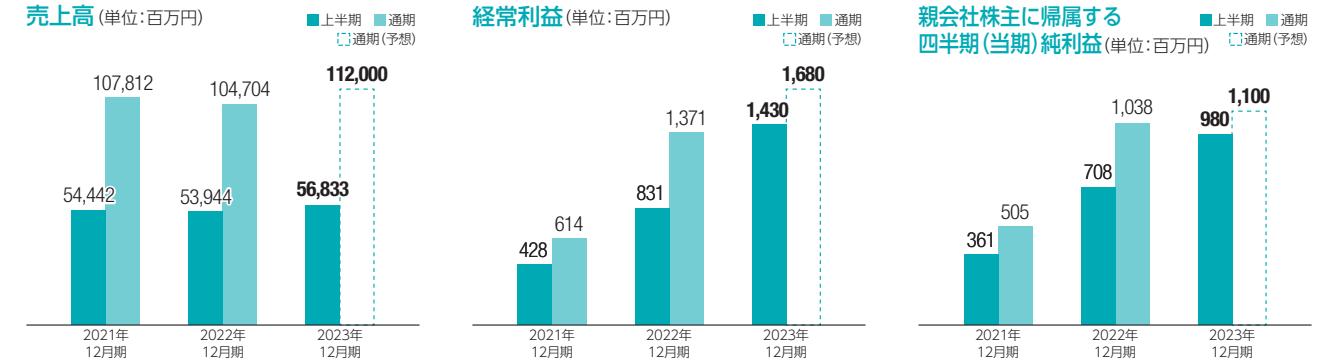


経営陣と若手社員の交流会の様子



連結財務ハイライト

Financial Data

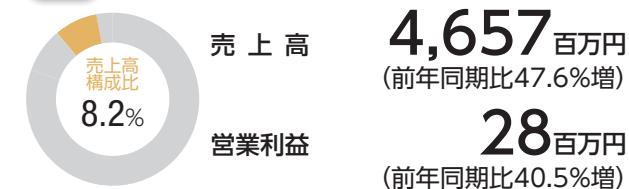


米穀事業



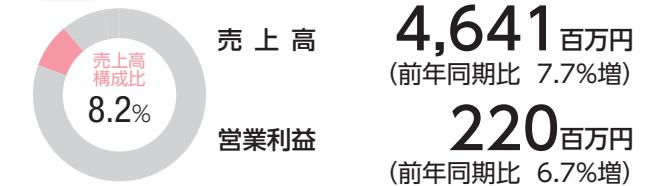
- 肥料やエネルギーのコスト高騰による令和4年産米の取引価格上昇に対応し、需要に応じた仕入の徹底や仕入ルートの複線化等、業態ごとの仕入戦略等の施策を実施したことに加え、物流等の流通コストが上昇しているなか構造改革を進め、コスト全般の見直しを徹底したことにより、増収増益

鶏卵事業



- 鳥インフルエンザの感染拡大および養鶏の飼料となる穀物価格の上昇によって鶏卵の平均相場が高騰するなか、量販店における鶏卵・鶏肉加工品の拡販に努め増収増益

飼料事業



- 昨年から続く世界的な穀物相場の高騰により国産飼料原料の需給が逼迫するなか、槽糠類および穀類等の国内調達に注力したことに加え、各取引先における販売条件の見直しを進めたことにより増収増益

食品事業



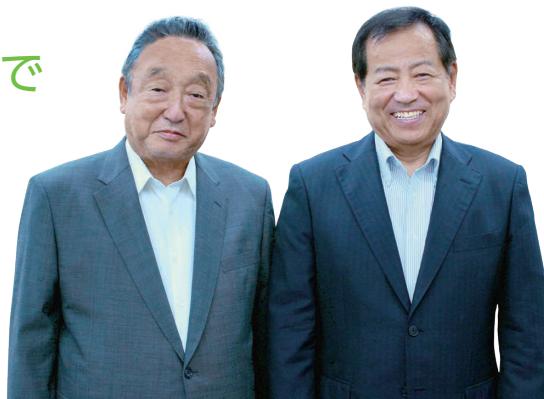
- 米菓メーカー向けの加工用原料米およびヘルスケア商品の販売に苦戦したこと等から減収
- コンビニスイーツの原料としての穀粉販売が好調に推移したことに加え、各取引先への継続的な値上げ交渉が結果したこと等から大幅増益



国内事業と海外事業の推進で 企業価値を高め、 日本のコメを守ります。

代表取締役
会長CEO

平山 惇



代表取締役
社長執行役員COO

竹内 伸夫

Q 2023年12月期上半期の概況について
お聞かせください。

A 安定調達と機動調達を両立し、コスト全般の見
直しを徹底したことで増収増益となりました。

竹内 国内では、人口減少等を背景にコメの消費量が年に10万トン程度減少していますが、こうしたなか、当社グループは前中期経営計画期間から米穀事業の構造改革に着手し、2023年からスタートした中期3ヵ年経営計画においては「コメビジネスの拡大」をテーマにさまざまな施策を推進しています。安定的な調達と機動的な調達を両立すべく、全農との協力体制を強化するとともに、生産者や農業法人、JAを含む仕入れルートの複線化を推進し、需給環境の変化に対応できる仕入体制を整備しています。また、効率的な調達・生産・販売を行うために、エリア戦略を踏まえた自社

精米工場の集約と委託精米の推進、そして保管と輸送の最適化を進めてきた成果が当上半期の業績につながっていると考えています。

現在も、組織改革を伴う業務の合理化・効率化を進めており、事務担当部署の業務を整理したうえで米穀部門に組み込んで会社全体での合理化を行いました。また、グループ会社との経営資源やノウハウの融合によるシナジー効果の最大化を目指すため、来年1月には完全子会社であるキトクフーズ株式会社を吸収合併いたします。

Q 成長戦略の鍵となる海外での展開についてお聞かせください。

A 海外の各拠点で体制と環境を整備し、
更に拡大していきます。

平山 当社グループは1991年にベトナム

に拠点を設立して以来、30年以上にわたり海外事業を展開してきましたが、近年特に重要度を増している戦略市場が世界有数の食糧輸入国である中国です。富裕層を中心に日本米の美味しさが認められるなか、2021年より連結子会社となった木徳(大連)貿易有限公司を拠点に販売を順調に拡大しています。中国最大の国営食糧企業である中糧集团有限公司(COFCO)との協力、そして日本の大手コンビニエンスストアチェーンとの連携によって中国東北部から沿海・中部地区への販売地域拡大をすすめていきますが、現地で日本式の炊飯技術指導を行いご飯の食味を安定向上させることが非常に重要だと考えています。

また、ベトナムでは連結子会社であるアンジメックス・キトク有限会社が現地で契約栽培したジャポニカ米をメコン川支流の川沿いにある乾燥・粳摺り工場で玄米にし、その下流にある日本式の精米工場で丁寧に精米した商品を作り、ベトナム国内での販売と輸出に力を入れています。世界的に中粒種が不足したことから近年は北米や欧州からの引き合いが特に多く、イギリスやオランダなどへも販路が拡大しています。ベトナム現地では昨年6月に就任した新社長のもと、全社員が一丸となって取り組んだことで黒字化が進んでおり、今後も更に成長できると期待しています。

また、現地の従業員がコロナ禍に長期間工場に泊まり込んで事業を継続してくれたことにも非常に感謝しています。ボーナスの追加支給や社員旅行の実施によって、モチベーションの向上を図っています。

そして、タイには日本人観光客や駐在している日本人が多く、高級レストラン等で美味しい日本米へのニーズが高くなっています。タイのキトク・タイランド会社は今年8月に新しい事務所へと移転し、更に事業を強化すべく取り組んでいるところです。また、永年当社はタイ香り米の輸入を行い、タイ関連イベントへの開催や出展など日本での普及に努めてきましたので、今後も両国友好の懸け橋となる活動に尽力していきます。

竹内 海外事業の拡大は木徳神糧グループの成長戦略の一つであることはもちろん、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によって穀物需給が世界的にひっ迫する環境において、食糧安全保障の観点からも、国内における食糧自給率の維持と有事の備えとして重要な取り組みです。そして、パンや麺など食の多様化の影響もあって国内での米食へのニーズが縮小傾向にあるなか、我々木徳神糧グループが輸出を拡大していくことで、米農家に生産を継続していただき、それが日本のコメを守ることに繋がります。



Q 社会的な課題の解決に貢献する取り組みを教えてください。

A 環境へ配慮した商品の開発を進めるとともに、地域への支援活動も行っています。

平山 新たな無洗米加工方式として超微小な泡で米ぬかを除去するUMB(ウルトラマイクロバブルプロセス)を岡山工場と桶川工場に導入しましたが、この加工方法は米ぬかがしっかり除去されていて美味しいだけではなく、無洗米の節水効果に加え、その工程で化石燃料を使わないためCO₂排出を抑制できる点を多くの得意先様から評価いただいています。また、当社では減プラスチック素材の米袋を使用した環境配慮型商品の「e-come(イーコメ)」シリーズを販売していますが、2023年3月には米粉を20%配合した包材を使用した商品を新たに発売しました。これは、米粉の製粉工程で発生する食用にできない米粉を米袋の原料に使用することで、石油由来プラスチックの使用量削減とともにフードロスの削減にも貢献するものです。

そして、当社は広域米穀卸として、地域社会への貢献と子どもたちの健やかな成長のための支援に力を入れています。子どもたちがお腹いっぱいご飯を食べて食生活が充実することは、日本の豊かな未来につながります。

それを支えていくことはお米を永年取り扱ってきた当社が行っていくべき重要な社会貢献だと考えていますので、今後も継続して取り組みます。

Q ステークホルダーの皆さまへメッセージをお願いします。

A 人を基盤に企業価値を持続的に向上させ、皆さまに還元してまいります。

平山 皆さまから「面白いことをやっている」、そして「社会になくってはならない企業」と評価していただけるような取り組みを行っていくことが木徳神糧グループの存在意義だと考えています。古い考えは捨て、常に環境と時代に合わせて変化し続け、新しい取り組みに挑戦していきます。昔の経営には戻りません。

竹内 何よりも社員を大切にしながら構造改革を進めていきます。社員が生き生きと仕事ができれば、お取引先様とのビジネスもうまくいきます。そのためのグループ全体での人材育成と環境整備は非常に重要な項目です。そして、人を基盤に販売拡大や社会貢献、新たなアイデアで企業価値を高めていくことが、最終的には株主の皆さまを含む全てのステークホルダーへの還元につながると考えています。



木徳大連の事務所をリニューアル

重要なマーケットである中国でのビジネスを更に拡大していくため、2021年より連結子会社となった木徳(大連)貿易有限公司の事務所をリニューアルし、オープニングセレモニーへ当社の経営陣が出席いたしました。



左から鎌田副社長、平山会長、林総経理、管取締役

第15回「タイ料理の夕べ」開催

駐日タイ王国大使館のご協力をいただき、ヤマモリ株式会社様と共に、東京・目黒の大使官邸にお取引先様を中心とする関係者をお招きする「タイ料理の夕べ」を4年ぶりに開催。タイ料理はもちろん、タイの伝統舞踊やムエタイなどさまざまなタイの文化をお楽しみいただきました。



アンジメックス・キトクの経営体制を刷新

新社長・新工場長による体制で、心機一転し、全社一丸となって販売拡大と効率化に取り組んだ効果が業績に表れています。また、ベトナム最大の都市であるホーチミンの営業拠点を移転し、国内外ビジネスの新たな飛躍を目指します。



中央：永瀬新工場長、右端：龍神新社長

キトク・タイランドの事務所移転および増員

タイにおける販売拡大のため、キトク・タイランド会社の事務所をよりビジネスに利便性の高いビルへ移転し、ビジネスの効率と生産性の向上を進めます。さらに、今後の展開を見据えた基盤強化のため、人員の増員等を計画しています。



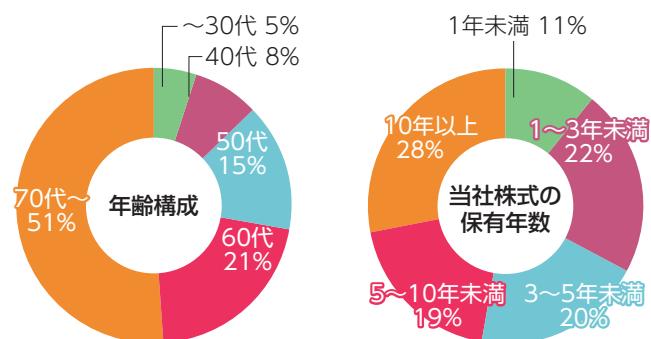
第75期株主通信
アンケート結果

実施期間

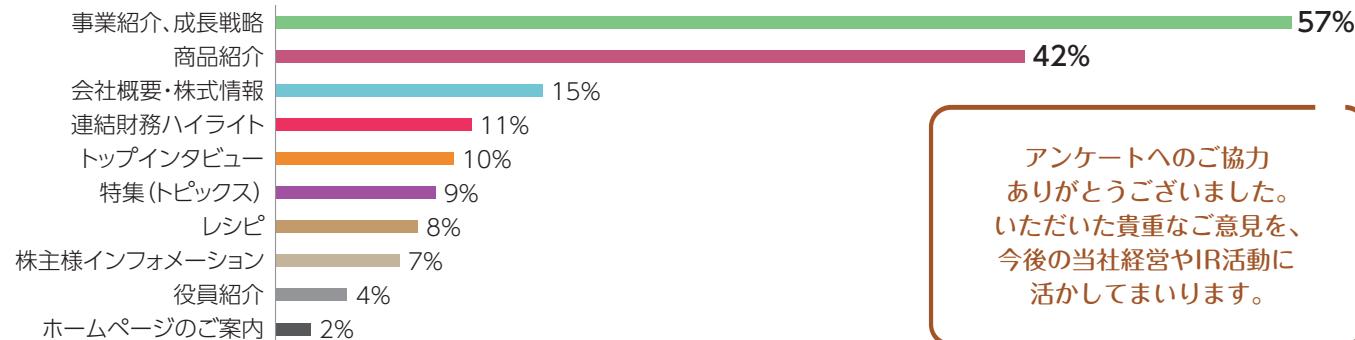
2023年4月10日から6月2日まで

ご回答数

312通 (返送率14.7%)

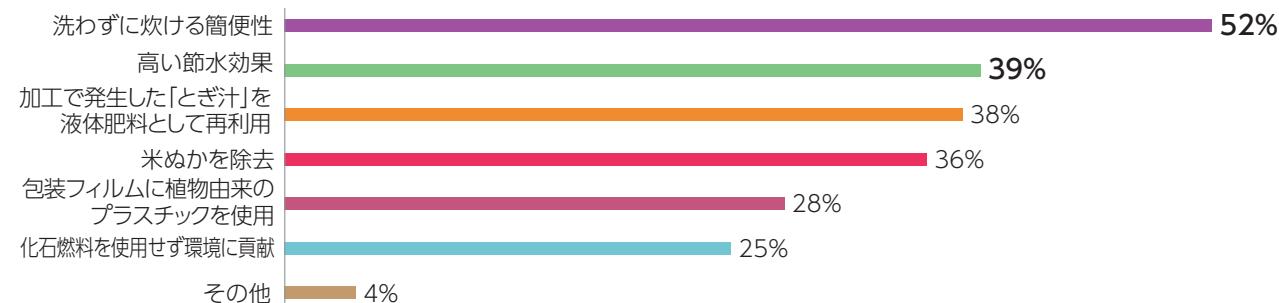


株主通信でもっと充実して欲しい記事をお聞かせください。(複数回答可)



アンケートへのご協力
ありがとうございました。
いただいた貴重なご意見を、
今後の当社経営やIR活動に
活かしてまいります。

株主優待でお届けした「e-come(イーコメ)」の特徴について、特に良いと思ったことは何ですか。(新規設問・複数回答可)



株主様のご意見にお答えします

麦の価格が高くなっている今、米粉の需要はあると思うので、米粉に力を入れてほしい(マドレーヌやケーキといった米粉を使った洋菓子など)。
(東京,50代女性,その他)



おっしゃるとおり米粉の需要は高まっていますね！これまで当社では自社製粉工場で製造した米粉を主に業務用向けに販売してきましたが、ニーズの高まりを受けて家庭用向け米粉商品の開発を進めています。今後取扱商品のバリエーションを増やし、更なる米粉ビジネスの拡大に努めてまいります。

御社の優待は、随時内容に変化があり、継続的に楽しめるものと思っています。引き続き続けていただけるよう願います。
(大阪,40代男性,会社員)



株主優待を楽しみにしていただきありがとうございます。優待の継続を希望される多くのご意見を頂戴しています。引き続き株主の皆さまのご期待に沿えるような、美味しく、魅力的な商品を提供してまいります。

株価を上げる努力をお願いいたします。
(東京,50代女性,主婦)



株価の向上は当社の最重要課題の一つです。東証からの要請もあり、今後資本コストや資本収益性について十分に現状分析を行ったうえで、改善に向けた方針や目標等を発信・実行し、株主価値の最大化を図ってまいります。より一層のご支援をおねがいいたします。

株主優待

100株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

6月末現在の株主様

200株以上400株未満
▶ 2,000円相当の米穀製品

400株以上
▶ 4,000円相当の米穀製品等*

12月末現在の株主様

100株以上200株未満
▶ 2,000円相当の米穀製品

200株以上
▶ 3,000円相当の米穀製品等

*うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

ポイント1

12月末現在の株主の皆さま

▶ 3月頃発送

6月末現在の株主の皆さま

▶ 10月頃発送

年2回の贈呈

ポイント2



米穀製品をお届けします

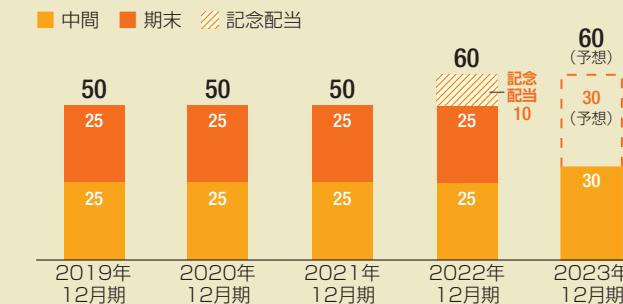
* 優待内容や商品デザインは、変更する場合があります。

配当金

当社は株主様に対する利益還元を重視しており、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。その実現のためには盤石な経営基盤の確保が重要であり、株主様への利益還元と同時に内部留保の一層の充実を図りつつこれに取り組んでまいります。

■ 1株当たり配当金の推移

単位：円





● 会社概要

商号 木徳神糧株式会社
事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22
本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
資本金 5億2,950万円
従業員数 283名(臨時雇用者を除く)
ホームページ https://www.kitoku-shinryo.co.jp/

● 株式情報

- (1) 発行可能株式総数 6,000,000株
(2) 発行済株式の総数 1,706,000株
(3) 株主総数 2,138名
(4) 大株主

Table with 3 columns: 株主名, 所有株式数, 持株比率. Lists major shareholders like 木村良 and 濱田精麦株式会社.

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(85,813株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

● 役員

取締役 代表取締役会長 CEO 平山 惇
代表取締役社長執行役員 COO 竹内 伸夫
取締役副社長執行役員 鎌田 慶彦
取締役常務執行役員 稲垣 英樹
取締役常務執行役員 岩苔 永人
取締役執行役員 石田 俊幸
取締役執行役員 山田 智基
取締役執行役員 管 益成
取締役相談役 木村 良
取締役(社外) 秋岡 栄子
執行役員 上席執行役員 石森 好宏
上席執行役員 金子 泰彦
執行役員 郡司 和久
執行役員 中田 基春
執行役員 今野 稔
執行役員 鈴木 敬夫
執行役員 内田 英一
執行役員 鈴木 平
監査役 監査役(常勤) 谷本 和則
監査役(社外) 鈴木 昌治
監査役(社外) 尾崎 達夫

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日 12月31日および中間配当金の支払を行うときは6月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所
公告方法 電子公告(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)



お米で社会と環境に貢献

社会貢献活動

地域社会へのお米支援について

当社は、子どもたちにとって地元の美味しいお米を食べる食生活が充実することは、地域農業への愛着を育むとともに、心身の健康的な成長につながると考え、当社の支店や工場がかかわる地域での支援を積極的に実施しています。岡山県瀬戸内市では同市で栽培された「朝日」約30トンを学校給食に提供し(2023年4月から1年間)、福岡県北九州市では福岡県産「夢つくし」約4トンを市内の約50カ所の子ども食堂に提供しています(2023年5月から8カ月間)。これからも当社は、子どもたちの健やかな成長と未来を支援する活動を行ってまいります。



瀬戸内市での贈呈式の様子
左：鎌田慶彦副社長 右：武久頭也市長

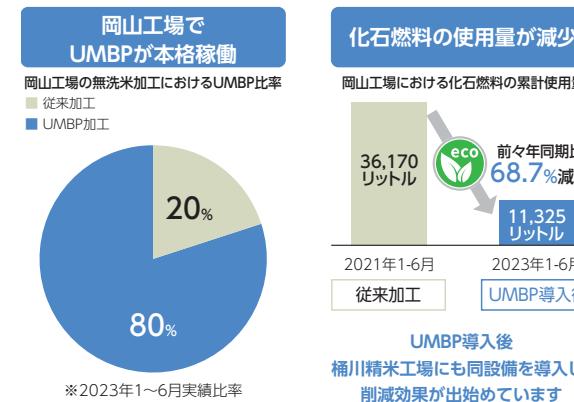
環境への取り組み

UMBP※の導入で化石燃料の使用量削減

当社が提供する環境配慮型の無洗米商品では、超微細な泡で米ぬかを除去する新しい無洗米加工方式「UMBP」を導入することで、従来の無洗米加工と比較して高い節水効果と、化石燃料の使用量削減を実現しています。岡山工場ではこのUMBPの本格稼働が進んでおり、当第2四半期までに同工場の無洗米加工におけるUMBPの比率は8割に達し、同工場における化石燃料の使用量は前々年同期比で約7割減少しました。今後、他工場においても同設備の導入を進め、より一層環境に配慮した事業活動に努めてまいります。

※UMBP(ウルトラマイクロバブルプロセス)：お米の表面を傷つけないよう直径1μm未満の超微細な泡で米ぬかをとり除く新たな無洗米加工方式

新しい無洗米方式(UMBP)の稼働が本格化
品質を維持しつつ環境負荷とコストの低減を実現



※2023年1~6月実績比率